

令和 6 年 第 1 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令和6年1月5日

令和6年第1回教育委員会定例会会議録

令和6年1月5日（金）

出席者（4名）

教育長 貝ノ瀬 滋
委員 松原 拓郎

委員 畑谷 貴美子
委員 須藤 金一

欠席者（1名）

委員 野村 幸史

出席説明員

教育部長 伊藤 幸寛

教育部調整担当部長

松永 透

総務課長 宮崎 治

総務課施設・教育センター担当課長、
教育政策推進室デジタル活用担当課
長

田島 康義

学務課長 久保田 実

学務課教育支援担当課長、指導課統
括指導主事、指導課支援教育担当課
長

星野 正人

指導課長 福島 健明

指導課教育施策担当課長、指導課統
括指導主事、教育政策推進室個別最
適化担当課長

齋藤 将之

教育政策推進室長

三鷹市立三鷹図書館長

越 政 樹

大地 好行

三鷹市立三鷹駅前図書館担当課長

教育部理事（スポーツと文化部調整
担当部長、生涯学習課長）

川島 敏彦

齊藤 真

教育部参事（スポーツと文化部スポ
ーツ推進課長） 二浦 孝彦

事務局職員

副参事 福島 学

副参事 千葉 優佳子

令和6年第1回教育委員会定例会
議 事 日 程

令和6年1月5日（金）午後3時30分開議

日程第1 議案第1号 令和6年度一般会計予算見積書について

日程第2 教育長報告

午後3時30分 開会

○貝ノ瀬教育長　ただいまから令和6年第1回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名委員は、畑谷委員にお願いいたします。

それでは、議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

日程第1　議案第1号　令和6年度一般会計予算見積書について

○貝ノ瀬教育長　日程第1　議案第1号を議題といたします。

（書記朗読）

○貝ノ瀬教育長　提案理由の説明をお願いいたします。伊藤教育部長。

○伊藤教育部長　それでは、令和6年度一般会計予算見積書について、ご説明いたします。詳細につきましては、先ほど協議会でご説明をさせていただきましたので、総括的に概要をご説明いたします。お手元の議案資料の1ページをお開きください。

令和6年度歳入歳出予算見積総括表です。これは令和6年1月5日現在の教育部の予算見積額で、職員人件費を除くものとなっております。

表の左側、歳入をごらんください。令和6年度の歳入見積りの総額は、表の一番下、11億6,968万5,000円で、前年度比9,727万2,000円、9%の増となっております。

歳入の主な増要因といたしましては、学校施設の大規模改修工事等の事業費増に伴い、国の補助である学校施設環境改善交付金が1,800万円余増えたことなど、また東京都の支出では、先ほど協議会でも議論になりました校内別室指導支援員でありますとか、エデュケーション・アシスタントの配置など、都の新規補助事業の実施に伴う歳入の増などがあります。

歳入予算の科目別の内訳につきましては、3ページから4ページに記載しておりますけれども、後ほどご参照いただければと思います。

お戻りいただきまして、1ページです。右側の歳出をごらんください。令和6年度の歳出予算見積りの総額は、表の一番下、68億7,695万6,000円、前年度比では2億7,365万円、4.1%の増となっております。

1ページおめくりください。2ページです。歳出予算見積経費内訳表です。事項別の詳細は5ページ以降に一覧を掲載していますが、概要につきましては、2ページの経費内訳表でご説明いたします。

初めに、第1項教育総務費です。01とあります。教育総務費に該当する経費といたしますのは、教育委員会や事務局の運営に関する経費、また学校運営やコミュニティ・スクール、また教育センターの管理や川上郷自然の村など、幅広い分野です。食材を含めた学校給食の公会計化に係る経費もこの項に含まれます。

項全体では、網かけの2行目、26億4,771万1,000円となりまして、前年度比1,912万5,000円、0.7%の微減となっております。増要因としては、医療的ケア児への支援関係で6,200万円余の増、学校における専門スタッフの拡充で6,200万円

余の増を見込む一方、教育ネットワークシステムの更新完了に伴う8,000万円余の減などがありまして、差引き、トータルでは微減となったところです。

その下の第2項02小学校費です。小学校における管理運営、施設の維持補修、保健・給食などに関する経費で、項全体では23億4,354万5,000円となりまして、前年度比1,091万3,000円、0.5%の微増となっております。減要因としては、一小の空調改修工事の完了や給食室への空調設備設置の完了による減がありますがけれども、大規模改修工事やアスベスト除去工事設計業務の実施など1億円余の増要因などもありまして、全体としてはトータル微増となっております。

次に、第3項03中学校費です。中学校における管理運営、施設の維持補修、保健・給食などに関する経費で、項全体では14億9,335万2,000円となりまして、前年度比2億6,201万6,000円、21.3%の増となっております。増要因としては、学校の大規模改修工事や校庭の環境整備で1億3,500万円余の増、それから学校トイレの洋式化等でも1億1,000万円余の増などがあるところです。

その下、第4項生涯学習費、04です。主に図書館の管理運営などに関する経費です。項全体では3億9,234万8,000円となり、前年度比1,984万6,000円、5.3%の増となっています。主な増要因としては、図書館システムの更新で1,900万円余の増、空調設備改修等の設計業務で1,000万円余の増などが挙げられます。

その他については、記載のとおりです。

予算見積りに関する説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○貝ノ瀬教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

特に補足の説明はありますか。特にないですか。

では、ご質問、ご意見等がなければ採決いたします。

議案第1号 令和6年度一般会計予算見積書については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○貝ノ瀬教育長 ご異議なしと認めます。本件は原案のとおり可決されました。

日程第2 教育長報告

○貝ノ瀬教育長 引き続き、日程第2 教育長報告に入ります。

では、各課長からの報告をお願いいたします。

では、まず総務課から、宮崎課長。

○宮崎総務課長 総務課でございます。では、まず4ページをお開きいただけますでしょうか。4ページの実績等のところです。

12月6日に第七小学校の学校訪問がありました。ご参加ありがとうございました。

それから、13日の文教委員会の報告でございますけれども、令和6年度三鷹市立小・中学校教育調理業務の委託について、それから三鷹市立小・中学校におけるインフルエンザにおける臨時休業等の状況について、それから令和4年度に発生した三鷹市立小・中学

校における体罰等の実態についてでございました。

それから、20日になりますけれども、教育委員会と市立小・中学校の保護者代表との教育に関する懇談会がありました。こちら、ご出席ありがとうございました。

続きまして、5ページの予定等の報告でございます。

1月16日は、東京都市町村教育委員会連合会の理事会・理事研修会が自治会館で行われます。畑谷委員が出席される予定になっております。

21日は、「みたかの教育」の発行となりまして、今回は野村委員にコラムを書いていただいております。

それから、24日でございますけれども、中原小学校の教育委員会訪問と東京都市教育長会などがございます。

それから、29日になりますけれども、高山小学校の教育委員会訪問があります。

以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 教育センター、田島課長。

○田島総務課施設・教育センター担当課長 6ページ、7ページをお開きください。

工事関係につきましては、羽沢小学校の外壁改修工事につきまして、12月に完了いたしました。

また、井口小学校の大規模改修工事の設計、第四小学校の大規模改修工事に伴う基礎調査及びアスベスト除去工事の設計を行っていくところでございます。

それ以外の工事につきましては、記載のとおりです。

私からは以上です。

○貝ノ瀬教育長 続きまして、学務課、久保田課長。

○久保田学務課長 学務課でございます。資料の8ページ、9ページをごらんください。実績報告についてです。

8ページ、12月15日に学校保健会役員会を開催いたしました。役員会では、来年3月に発行いたします「みたかの学校保健」の原稿依頼について調整、確認を行うとともに、令和6年度の講演会のテーマについて協議を行いました。テーマといたしましては、起立性調節障害やネット依存、自傷行為やオーバードーズ等が上がり、最終的には、学校医代表と事務局が協議を行い、起立性調節障害をテーマとして講演を行うことと決定いたしました。

続きまして、9ページ、行事予定についてです。

1月15日から2月末にかけて、給食調理業務を委託実施しております小・中学校全22校において、学校長、栄養士、委託事業者、保護者、教育委員会事務局職員が参加し、学校給食運営協議会を開催いたします。

その他報告事項につきましては、記載のとおりでございます。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

総合教育相談室、星野課長。

○星野学務課教育支援担当課長 10ページ、11ページになります。

初めに実績でございます。

12月19日、通級支援委員会を行いました。36名のお子さんの入級と指導継続についての審議を行いました。

26日、長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会、これが第4回目になります。当日は、分教室型を含めた学びの多様化学校の三鷹市での設置の必要性についてということを中心にテーマとして協議、意見交換を行いました。事前に、調布市の教育委員会の担当の統括指導主事を招いて、調布市の第七中学校ではしうち教室というものを設置して先行実施していますけれども、そちらの情報等をお聞きした上で意見協議の実施を行いました。

11ページ、行事予定になります。

1月16日、23日、通級支援委員会、就学支援委員会を予定しております。通級のほうは30名のお子さん、就学支援委員会のほうは7名のお子さんの審議を予定しております。

25日、長期欠席・不登校状況にある児童・生徒への支援の在り方に関する研究会は、これで今年度最終回になりますけれども、1年間の研究のまとめをしっかりとしていきたいと考えております。

総合教育相談室は以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 一口では言いにくいでしょうけれども、今年度の不登校の研究会はどのようなまとめ方になるんですか。

○星野学務課教育支援担当課長 今年度については、まずは三鷹の現状の分析をして、そこから見える三鷹の特徴をまとめた上で、学びの場所をしっかりと確保していこうという方向性で今研究していますので、その必然性や重要性についてまとめができたかなと思っています。

○貝ノ瀬教育長 調布の指導主事さんの話を聞いての反応はどうでしたか。

○星野学務課教育支援担当課長 委員の方々からは、居場所として選択肢がたくさんあることはすごく重要だけれども、大切なのが、アセスメントをしっかりと行った上で、その居場所に行ったところでもその子に合った支援だったり指導ということができないと、場所をつくっても思うような結果に結びつかないんだろうというところでした。今いろいろなアセスメントの仕方があるので、アセスメントをしっかりと行っていくということがまず必要ではないかというところで意見をいただいております。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

では、指導課、福島課長。

○福島指導課長 指導課長、福島です。12ページ、13ページをお開きください。

まずは実績報告からです。

12月8日金曜日、令和6年度教育課程届出説明会を行いました。後ほど、教育課程編成の重点について、担当よりご説明いたします。

9日土曜日、昨年度に引き続き、デジタル・シティズンシップに係る全学園での熟議を行いました。全7学園児童・生徒代表、そして教員、そしてコミュニティ・スクール委員の皆様にご集まっていただき、各グループに分かれて、熟議を行いました。よりよい使い

手になるためにはどうしたらいいか、そして自分の行動宣言の発表というところでまとめて終わることができました。内容を後日拝見しますと、何々をしないという否定的ではなく、このように使っていきたい、このように取り組んでいきたいという前向きな内容があったことが非常に印象的でした。今後は、さらに意識を高めていくために、各学園・学校、そしてコミュニティ・スクール委員会で熟議の結果を活用して広めていただければということで考えております。

続いて、予定についてです。

1月9日（火）、小・中学校の3学期の始業式を予定しております。

また、1月15日から、中学校自然教室、スキー教室が行われます。能登地方の地震の影響については、現在のところ報告は来ていませんので、予定どおり実施する予定です。先ほど状況を確認しますと、マイナス3度ということで、非常に晴天で、若干雪は少なめですが、問題なく実施できると確認しております。

そのほかについては記載のとおりです。

では、この後、令和6年度教育課程編成の重点について、担当よりご説明させていただきます。

○貝ノ瀬教育長 齋藤課長。

○齋藤指導課教育施策担当課長 私から、令和6年度教育課程の編成の重点について、本日、机上配付しております資料のA4判横型のこちらの概要を用いて説明をさせていただきます。

上段をごらんください。大きな柱としまして「一人ひとりを大切にする教育の実現とスクール・コミュニティの創造・発展」とし、個人と社会のウェルビーイング実現のため、「人間力」と「社会力」を主体的に発揮できるよう育むことを目指すこと、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を柱に、地域との協働による特色ある学園・学校づくりの推進、児童・生徒の心身の成長や発達段階に応じた体系的な教育を組織的に行うことを示しております。

その下、中段のところには、「社会背景・三鷹市の学校教育に求められること」とし、学習指導要領に記載されています「資質・能力の育成」、「社会に開かれた教育課程」、「カリキュラム・マネジメント」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を、また「三鷹市教育ビジョン2022（第2次改定）」及び「当面の教育施策の推進に関する基本的な考え方」に記載されている「個人と社会のウェルビーイングの実現」、「『人間力』と『社会力』を兼ね備えた子どもの育成」、「個別最適な学びと協働的な学びの推進」、「地域の『コモンズ』としての学校」、「学校3部制」を示しております。

これらを踏まえまして、下段に重点としまして、「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の推進」では、「誰一人取り残さない一人ひとりを大切にする教育」や、「スクール・コミュニティの創造・発展」、「『チーム学園・学校』の推進」などを、真ん中の「知・徳・体の育成」では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現」や、「1人1台の学習用タブレット端末等ICT機器を積極的に活用した授業の推進」などを、右側の「喫緊の教育課題」では、「いじめ等の生活指導上の諸

問題の防止に向けた取組」や、「デジタル・シティズンシップ教育の推進」、「教育支援、長期欠席・不登校児童・生徒への個別の指導・支援の充実」などを示しております。

詳細につきましては、もう一つのステープラー留めのほうの資料をごらんいただければと思います。

現在、各学園・学校におきましては、これらに基づき、令和6年度の教育課程の編成を進めているところでございます。

私からの報告は以上です。

○福島指導課長 指導課からは以上となります。

○貝ノ瀬教育長 齋藤課長が担当しているのは、小・中一貫カリキュラムの更新ですか。

○齋藤指導課教育施策担当課長 小・中一貫カリキュラムの更新版を作成している最中です。

○貝ノ瀬教育長 もう始まっているのか。

○齋藤指導課教育施策担当課長 はい。今、教員が作業している最中でございます。

○貝ノ瀬教育長 全体を総括する方、指導者はどなたなんですか。

○齋藤指導課教育施策担当課長 委員長は上智大学の奈須先生にお願いしております。

○貝ノ瀬教育長 お引き受けいただいたの。そうか。よかったね。分かりました。ありがとうございます。

教育政策推進室、越室長。

○越教育政策推進室長 教育政策推進室でございます。14ページをお開きください。行事実績等の報告になります。

12月7日木曜日、2行目でございますけれども、公立学校PTA連合会学校代表者との懇談会を開催しております。こちらは、PTA連合会、各校のPTAの会長さんと、主に学校長が、熟議形式で懇談を行うということで開催しております。

真ん中でございますけれども、15日金曜日、全国コミュニティ・スクール研究大会by鳥取県南部町でございます。こちらは、貝ノ瀬教育長が会長を務めておられます全国コミュニティ・スクール連絡協議会が文科省、開催地と主催するもので、今年度は鳥取県南部町で、全国のコミュニティ・スクールに関する取組事例などの発表、分科会が開催されたところでございます。

20日水曜日、こちらも下のほうにありますけれども、学校3部制第3部モデル事業(第3回)として、「一夜の学校で一望遠鏡を使って天体観察をしよう」と題しまして、第七中学校で夜、国立天文台の職員による解説の後、三鷹の星のソムリエさんのご協力の下で、屋上から天体観察をしました。少し雲はありましたけれども、土星や木星といった惑星を中心に天体観察をすることができました。

21日木曜日、地域子どもクラブ代表者及びスクール・コミュニティ推進員による合同会議を開催しました。こちらは初めての開催になりますけれども、私ども教育委員会からお願いしているスクール・コミュニティ推進員の方々と、子ども政策部児童青少年課がお願いしている地域子どもクラブ実施委員会の代表者やコーディネーターの方々の両者にお集まりいただきまして、主に私どもの学校3部制等の最近の取組についてのご説明、共通

認識を持っていた上で、相互に共通理解を図っていただくということで、こちらも熟議形式で、いろいろなグループに分かれて懇談をしていただきました。

15ページでございます。今後の行事予定等報告ですけれども、1月、3学期が始まりますと、各学園のコミュニティ・スクール委員会や各校の家庭教育学級がまた引き続き行われていきます。

真ん中になりますけれども、21日曜日には、学校3部制第3部モデル事業として、最終回となりますけれども、「一緒に音楽を楽しもう♪シニアのためのミニ・コンサート」と題しまして、東台小学校でミニ・コンサートの開催を予定しているところでございます。

教育政策推進室からは以上でございます。

○貝ノ瀬教育長 では、図書館。大地館長。

○大地三鷹図書館長 16ページを開いてください。

展示等でございますが、実績でございます。12月5日から10日まで、障がい者支援課と共同企画展示で、障がい者週間に関連して、本館で展示をいたしました。

また、12月5日から28日まで、「吉村昭と津村節子～三鷹図書館所蔵コレクションから初期作品と三鷹ゆかりの資料を中心に～」ということで、本館の2階で展示をいたしました。

12月12日から24日までは、本館ロビーで連雀学園しおりデザインコンテストの受賞作品等を展示いたしました。

イベント等でございますが、中段、12月17日にワークショップ「くまの子ウーフのおうちをつくろう」ということで、こちらは、今年度実施しております神沢利子さんの生誕100年記念の事業の一環として、くまの子ウーフのおうちに子どもたちが色をつけるというワークショップを実施いたしました。

19日には、大成高校のハンドベル部が演奏会をしました。

予定でございます。イベント等でございますが、1月18日から2月4日まで、神沢利子さんおめでとう100歳展のメイン事業として「北と星といのちと～同じうたをうたい続けて～」の展示を芸術文化センターのほうで実施いたします。

1月27日、子ども向け人形劇「あらどこだ」、1月28日、高樓方子さん講演会「神沢さんのまなざし」ということで、こちらも神沢利子さんの100歳記念の関連事業ということで実施する予定です。

私からは以上です。

○貝ノ瀬教育長 では、スポーツと文化部で、齊藤部長、お願いします。

○齊藤教育部理事 それでは、スポーツと文化部です。18ページの実績です。

12月15日から17日の3日間、解体工事のために撤去するJRのこ線人道橋について、渡り納めイベントを開催しました。こちらについては、3日間で約2,800人の見学者に渡っていただきました。

17日に、三鷹のキャラクター「Poki (ポキ)」を周知するために実施しているPoki 4コマまんがコンテストの表彰式を行いました。今回は昨年よりも多く、525件の応募があり、入選作品等につきましては、広報等で広く作品を掲載していきます。

続きまして、19ページの予定です。

1月5日から19日まで、市役所1階ホールにて、縄文時代の大集落の遺跡をテーマとした考古学展示会を開催しています。併せて、13日には関連する講演会をさんさん館で実施いたします。

あと1月15日、文化財保護審議会を開催し、井の頭にある庚申供養塔の文化財指定についての継続審議を行います。これにつきましては、2月の定例会で文化財指定の議案として提出する予定です。

○貝ノ瀬教育長 では、二浦課長。

○二浦教育部参事 スポーツ関係になります。

12月6日に、第32回三鷹市民駅伝大会実行委員会の2回目を開催いたしました。大会の当日は、2月18日の日曜日9時スタート予定となっております。

次に、12日火曜日、10月18日に開催いたしましたみたかスポーツフェスティバル実行委員会を開催いたしました。

16日の土曜日、みたかスポーツサポーターズの皆さんと交流会を行いました。

報告は以上になります。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございました。

以上で報告は終わりました。委員の皆様のご質疑をお願いいたします。

松原委員、お願いします。

○松原委員 質問というよりも、単純に感想めいたお話です。10ページのところで、先ほど教育長がふと一言言ってくださったところの関係です。

長期欠席・不登校の研究会ですけれども、前回、居場所のお話を聞かれて、そこで委員からのご指摘で、アセスメントも大事ではというところ、そこは本当にそのとおりだなとは思っています。私はこの間、ちょっと星野課長から資料を送っていただいて、この間の研究会資料も拝見したんですけれども、それを見るときに、元当事者保護者としての視点でちょっと見たんです。そのときに思ったのは、不登校になってしまった子の居場所をつくるというのはもちろん大事なんですけれども、実際に、私が個人として思うのは、そういう子が出てほしくないというのが先に立って、そうすると、そういう居場所づくりだとか、そのアセスメントというところから、何でこの子が不登校になってしまったのだろうというところのそこまでのアセスメントまで広げていただいて、それを今現に通っている子どもたちを見ている先生方へのフィードバックにつなげていただきたいなということを感じました。

不登校になった子の居場所をどう保障するかという、アセスメントを含めてそういったところを当然中心として議論されていて、それは当然だと思うんですけれども、最終的にはその「後足部分」ではなくて「前足部分」というか、これから不登校とか長期欠席にならないために、どのように子どもたちと関わっていけばいいかというところまで広がっていった議論になるといいなという感想を持ちました。

○貝ノ瀬教育長 ありがとうございます。

星野課長、どうですか。

○星野学務課教育支援担当課長　松原委員のお話を聞いて、アセスメントに関することで補足になるかもしれないんですけども、委員の方々からも、松原委員がお話しされたことをご意見としていただいています。当然、不登校の要因というのは一人ひとり異なる状況で、それは背景であったり、環境であったり、性格であったりと、いろいろな部分があるのだけれども、そのアセスメントの部分、例えばその子が、学び方にとっても、こういう学び方がこの子は得意だとか、この学び方は逆に言うところとちょっと不得意だからというところが、不登校になってからというアセスメントではなくて、その前段階で全ての子の背景が分かっていると、不登校の未然防止というか、長欠・不登校の数が減ってくるのではないのかということでした。先ほど言いましたが、アセスメントの部分のところで、居場所をつくっていくというのも一つ大切なんだけれども、その事前段階としてアセスメントのやり方というところが工夫できないのかなという意見もあるので、次年度も継続して取り組んでいきますので、今年度のまとめとも関連しながら突き詰めていきたいと考えています。

○貝ノ瀬教育長　では、よろしくお願いします。

ほかに、委員さん、いかがですか。須藤委員。

○須藤委員　個別に、意見というわけではないんですが、14ページで、いろいろと各コミュニティ・スクールで熟議等々をやられていると思うんですけども、実際にこのコミュニティ・スクールに所属している知り合いの方々から言われたのが、熟議はたくさんコミュニティ・スクール委員会で作るんだけど、熟議で出た最終的ないろいろな意見といったものがどう吸い上げられてどう施策に生かされているかというのがあまり見えなくて、ただ熟議を毎回やらされているといった声を聞きました。コミュニティ・スクール委員の方々も忙しい中いろいろとやっていただいているんですが、もう少し委員さんに実感として、この熟議を通して出た意見が結果的にどう施策に反映したのか、そういった形になるものが何か少しでも見えてくると、よりこのコミュニティ・スクールでの熟議というのはやりがいにつながってくるのかなと思ったんですが、実際、その辺を分かる範囲で、実際の状況を教えてもらえればと。

○貝ノ瀬教育長　大事なところですね。越室長。

○越教育政策推進室長　まず、いわゆる熟議と言われるものにはおそらく、目的としては2パターンあると私は思っていて、先ほど言ったように、交流のために、熟議という形を使って共通理解を図って交流したりするというのが一つと、もう一つは須藤委員が主に念頭に置かれていた、何かを深めていく、特定のテーマ、目的を持った熟議というものがあろうかと思います。後者のほうについて、特にコミュニティ・スクール委員会等で実施する場合には、そういうことが期待されていることも大きいと思います。その運営については、各学園のコミュニティ・スクール委員会によってしまうところであるのですが、熟議における一般的に言われる課題の一つとして、私どもも最近そういうお声を聞くことも増えてきていますので、そこは私どもも課題として認識していて、前回の熟議を踏まえて、次に施策に反映させる、あるいは我々が聞いたものについて、それをどうフィードバックしていくか、これがどうつながったかということをお返ししていくというこ

とは、非常に重要な課題だなとは認識しています。

ただ、それはまだまだちょっと取組不足だなとは思っておりますので、2月にはまたコミュニティ・スクール委員会の正副会長の連絡会等もありますので、各コミュニティ・スクール委員会の議論が教育委員会でどのように施策としてつながっているかのフィードバックもそうですし、今いただいたようなお話のところも含めて、各コミュニティ・スクール委員会あるいは我々教育委員会が実施している事業の中で、いろいろなご意見をいただくものをどのようにお返ししていけるのかと、引き続き、よく考えて設計していきたいと思っております。ありがとうございます。

○須藤委員　　よろしく申し上げます。

○貝ノ瀬教育長　　熟議の意味とかということも時々意識してもらうような、そういう働きかけも必要かもしれませんね。時間がたつと薄れてきたりしますし、また熟議を始める前に、「今日はこのテーマについて一定の方向性を出していただきたい」とか、または「今日は関係づくりなので、お互いにどういう人なのかということが理解されるような会にしていただければ」とかとちょっとお口添えをもらえるといいのかなとも思いますね。そんなことで、今のご要望等について考えていただければと思います。

○松原委員　　今のことで、いいですか。

○貝ノ瀬教育長　　どうぞ。

○松原委員　　今の須藤委員のお話も保護者目線からは結構大事で、あまり放っておくと不信感につながってしまう話なのかなとも思っております。

保護者の立場からすると、このコミュニティ・スクール委員会とかで議論したことで具体的に何かが本当に変わるのかといったら、率直に言って、そこまで期待もしていないものも多いと思うんです。変わるとは思っていない。ただ、それを熟議をしたことによって意見を聞きました、とまとめられてしまうのは違うのではないかと、そのようなことはすごくあると思うんですね。

最初の段階で、今教育長がおっしゃったように、「今日の議論で具体的に変わるかどうかというのは分からないけれども、ただ、変えられなかったにしても、こういった形でそれを記録に残してちゃんと引き継ぎたい」みたいな、そういう議論をしたことがどのような形に残るかとか、どうその記録が扱われるのかとか、そういったことをきちんとお示しするだけでも、それは保護者、参加される方々にとっては、このように自分たちの議論が扱われるのかということが分かるだけでも全然違うのかなと思うので、進行のときにそういったことを配慮してさしあげるというのは必要なのかなとは思いました。

○貝ノ瀬教育長　　ありがとうございます。

越室長、どうぞよろしく申し上げます。

畑谷委員、いかがですか。

○畑谷委員　　大丈夫です。

○貝ノ瀬教育長　　大丈夫ですか。ありがとうございます。

それでは、日程第2　教育長報告を終わりたいと思います。

以上をもちまして、令和6年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうご

ざいました。

午後4時08分 閉会